

# 単位互換のすすめ

## 学都仙台コンソーシアム 単位互換ネットワーク

### 他大学等の授業を受けて 単位を取ろう!

学都仙台コンソーシアムに加盟している大学等に

在籍する学生は、他の参加校が提供する

**約2,000科目もの授業**

を履修することができます。

さらに、そこで取得した単位は自分が

**在籍する大学等の単位として申請**

することができます。

詳しくは学都仙台コンソーシアムのWebサイトへ!

学都仙台 単位互換

検索

#### 編集後記

G.S.C.を手にとっていただきありがとうございます!  
今回は公開講座を中心に、学都仙台コンソーシアムのサービスをご紹介しました。あなたが学都仙台にいる今、ぜひ利用してほしいものばかりです。どうぞ活用ください。そして次号のG.S.C.も楽しみに!

令和元年度広報サポートスタッフ一同

わたしたちと一緒に学都仙台コンソーシアムを盛り上げていきませんか?  
他大学の学生と交流する中で、多くの気づきが得られます。少しでも興味の在る方は、ぜひエントリーしてください!! Let's join us!!!

～その他学都仙台コンソーシアムについて詳しくはwebで!～  
<http://www.gakuto-sendai.jp>

学都仙台コンソーシアム広報部事務局  
(東北大学教育・学生支援部教務課教育支援係)  
TEL : 022-795-3925  
FAX : 022-795-7555  
E-mail : kyom-d@grp.tohoku.ac.jp

## 学都仙台コンソーシアム

# G.S.C.

学生が紹介するキャンパスライフ

GAKUTO  
SENDAI  
CONSORTIUM

2020.3  
vol.24

TAKE FREE  
※J-Blueメンバー

特集

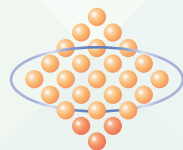
## 学都仙台 コンソーシアムを 利用しよう!



学都仙台コンソーシアムとは、

若い力の溢れる“学びの都 仙台”の魅力を引き出すため、仙台の大学等と行政・企業が学校の垣根を超えたつながりを生み出し、様々な取り組みを行っている組織です。私たち 学都仙台コンソーシアム広報サポートスタッフは、そんな仙台の学校・学生の魅力を本誌“G.S.C.”等を通して県内外へ発信しています。

“学都仙台”を全国にアピールするだけでなく、学生自身がその魅力に気づき一層盛り上げていけるようにサポートしていきたいと思っています。今回はこのG.S.C.を読んで、まだ知らない学都仙台の魅力を是非探してみてください!



## 学都仙台コンソーシアム

### 「人と産業と都市の魅力を育む 学都仙台を目指して」

「杜の都」仙台は、古くから「学都」仙台とも呼ばれてきました。  
明治時代、すでに「学都」の呼称が使われていた記録があり、  
100年以上の歴史を有していることが窺えます。

現在、仙台を中心として多様な教育機関が集積しています。  
学都仙台コンソーシアムは、これらの知的資源を存分に活かし、  
市民生活の質、「学都仙台」のブランド力を  
向上することなどを目的としています。

「学都仙台」の発展のために。学都仙台コンソーシアムでは、  
これからもさまざまな取り組みをしてまいります。  
本誌では、その取り組みのうち、我々が利用できるものを  
いくつか取り上げました。これを読んで、ぜひ活用してみてください。  
本誌に載せきれなかった内容や最新情報など、

★詳細はWebサイトをご覧ください!⇒



## 公開講座

学都仙台コンソーシアムでは、学生のみならず、  
社会人や一般市民の受講生のために公開講座を開催しています。  
会場は仙台市市民活動サポートセンター6F セミナーホールとなっています。  
2019 年度は「講座仙台学 2020」も含め、60 もの講座が開講されました。  
講座のテーマも、医学、漢文、文化論、歴史、人工知能、心理学、などなど  
多種多様なものとなっています。

### ～ 2019 年度の講座テーマ (一部) ～

「和の伝統美をさぐる～日本建築の素材と技法」  
「ホラー映画の比較文化論」  
「保育の世界を旅する～フィンランド編～」  
「わが国におけるキャッシュレス社会の実現可能性」  
「片平キャンパスを通して学ぶ東北大学の歴史」  
「次世代放射光施設～高輝度 3GeV 級放射光源」



★詳細はWebサイトをチェック!⇒



# 公開講座取材レポート

サテライトキャンパスでは、様々な分野についての公開講座が開かれています。これまで参加したことのない読者の方も多いかもかもしれません。

今回、サテライトキャンパス公開講座「講座仙台学 2020」のうち、1月18日に実施された、「人口で見る仙台の過去・現在・未来」にサポートスタッフが

参加させていただきました。講師の萩原先生や受講者の方々にも

お話を伺ってきましたので、講義内容の紹介と併せて、取材レポートとしてお届けします。

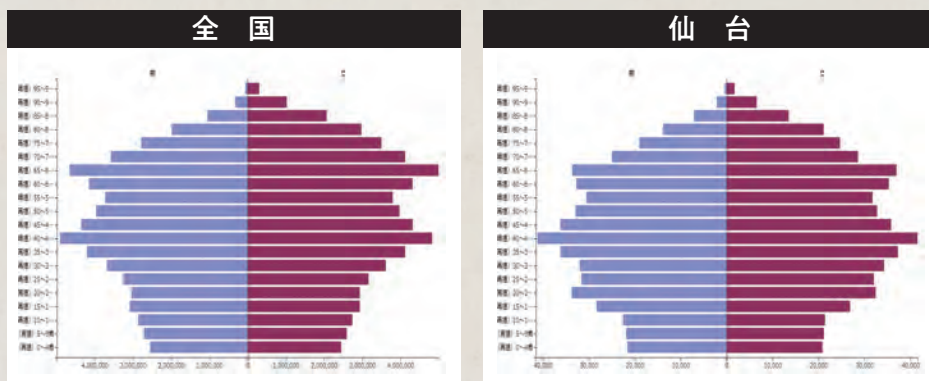
## 公開講座 講座仙台学 2020

### 「人口で見る仙台の過去・現在・未来」

#### ● 仙台市の人口の変遷と特徴

都市の範囲は時代によって変化します。現在の仙台市は宮城県を北と南に分けるように広がっていますが、以前は海にも面していない小さな都市でした。市町村の編入が繰り返された結果、宮城県民の約45%が仙台市民となるまでに至っています。宮城県は、現在人口減少が進んでいますが、仙台市の人口はまだ増加しています。人の集まるところに人が集まるのは都市化の象徴ですね。

近年、日本では高齢化が進んでいます。人口ピラミッドを見ると、団塊の世代、団塊ジュニアで山があり、若い世代の少ない壺型になっています。では、仙台市に絞って見るとどうでしょう。一見違いはないように見えますが、若い世代に少し盛り上がりがあるのがわかると思います。これは、仙台に集積した高等教育機関に学生たちが集まっていることを示しており、学都仙台を象徴するデータであるといえます。



★記者より

実は初めての公開講座でした。が、これまで行かなかったことを後悔するくらい、刺激的な90分でした。皆さんもぜひ！

#### ● 仙台の今を見て、これからを考える

人口減少期である現在の課題としては少子高齢化が挙げられます。仙台市のように自治体単位で見ると、転入数を増やすよう努めるほうが行政的には対策しやすいかもしれませんが、自治体ごとで人を取り合う形になり得ます。それよりも本質的な部分に目を向けたほうが良いはず。少子高齢化は、家族やコミュニティに対する価値観が多様化してきたために、文明が成熟した象徴であると考えられます。また、人口の減少は環境問題の緩和につながることも忘れてはなりません。

皆さんには、この少子高齢化問題は本当に国難なのか、人類の歴史の単なる一コマではないか、というところから、仙台、日本、世界の未来を考えていただきたいと思います。



Q. 普段取り組まれている研究について教えてください。

A. 人類生態学を専門にしています。人口の動きを集団でとらえ、その現象が環境のどのような因子によって引き起こされているのか、その関係を議論するものです。われわれ人間にとって良い環境であれば人は増えますし、良くない環境であれば人は減ります。逆もまた然りで、人が多いと環境は良く、人が少ないと環境は良くなります。相互に影響しあっているというわけです。

Q. もしご自分が学生なら、今回のような公開講座を受けられる機会をどのようにとらえますか？

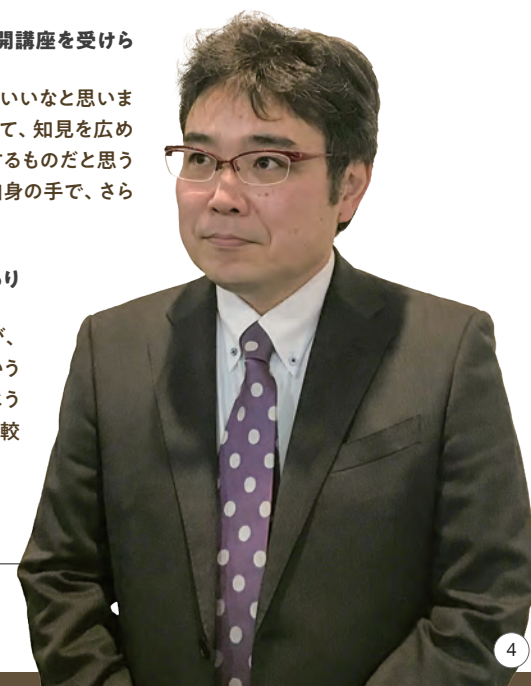
A. 色々なことを幅広く知ることができるのでいいと思います。本を読むよりは頭の中にサクッと入って、知見を広められそうです。ただ、勉強は自分自身でするものだと思うので、このように講座を受けた後、自分自身の手で、さらに知識や考えを深められるといいですね。

Q. これからは仙台で生きる若い世代に伝えたいことはありますか？

A. 紹介したように、少子化問題は確かに存在していますが、どうかしようと意識しすぎると、「大変な問題だ」という考えが先行しすぎてしまうと思います。この世はなるようにしかありません。あまり深く考え過ぎたり、周囲と比較したりせず、自分の人生を歩んでほしいと思います。

宮城大学／看護学群

萩原 潤 准教授



# 来場者の方の声



市政だよりを見て講座仙台学を知り、受講しに来た。実は、3か月前に名古屋から仙台に来たばかりで、歴史的な部分から仙台という街を知ってみたいかった。データや図で示してくれたので実態がよくわかったし、少子化などの問題が進んでいくのはもはや前提として、その中で、どのようにして最大幸福を生み出していくか考えていくべきだと思った。(60代 男性)

ポスターを見て、初めて講座仙台学を知った。公開講座への参加自体が初めて。人口が右肩上がりに増えていくことは幻想だということを知ることができ、興味深かった。(40代 男性)

以前から何度も参加している。知らないことを知ることができるのが好き。学歴は人生においてあまり関係ないと感じており、私のように年を取ってからでも、このような講座を通じて十分に学ぶことができる。(70代 女性)

## 2020年度(令和2年度)の公開講座

Webサイトにて、実施予定の公開講座一覧をご覧になれます(※2020年5月頃に講座情報を更新予定)。さまざまなジャンルの講座がありますので、ぜひ参加してみてください。

★詳細はWebサイトをチェック!→



# 復興大学

復興大学は、  
「復興人材育成教育」「教育復興支援」「企業支援ワンストップサービス」  
「災害ボランティアステーション」の4つの事業を柱として活動を行なっています。  
令和2年度も実施する予定です。



## ① 復興人材育成教育

リーダーとして活躍できる人材の育成のため、学生だけでなく一般市民・県民を対象とした教育コースを開講しています。コース科目は「復興の政治学」「復興の経済学」「復興の社会学」「復興の思想」「復興のための生活構築学」「復興の科学技術」の6科目です。座学だけでなくフィールドワークや受講生どうしのディスカッションなども取り入れています。



## ② 教育復興支援

大学生ボランティアによる、被災地域の児童・生徒の学習指導や教員の補助などの活動を行なっています。また、震災復興や防災教育の勉強会、キャリア教育や心のケアに関する講習会等も実施しています。



## ③ 企業支援ワンストップサービス

被災地域の自治体や企業への巡回訪問を通じ、各企業や団体の課題をみつけ様々な支援を行なっています。具体的には、企業と学術機関等のマッチング、共同研究の支援、外部資金獲得に向けての支援などです。また、地方自治体と連携し持続可能な地域づくりの提言と実践などにも取り組んでいます。



## ④ 災害ボランティアステーション

災害からの復旧を支援する学生ボランティアの人材を育成しながら、大学間の連携を図るネットワークを運営しています。県内の災害復興ボランティア活動を通年で行なっているだけでなく、スタディツアーやシンポジウムも開催しています。

## 「復興大学」に関するお問い合わせ

復興大学事務局(東北工業大学 地域連携センター)

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町 35 番 1 号 TEL 022-305-3818 FAX 022-305-3808

E-mail fukkoudaigaku@tohotech.ac.jp

URL <http://www.fukkou-daigaku.gakuto-sendai.jp/contact/>